

# 世界遺産の玄関口 笠田のまち

大和街道を歩こう

西には万葉の里 妹山・背山  
南には世界遺産 丹生都比売神社



笠田のまちなみ



⑧宝来山神社



⑪背ノ山2峰



⑫龍之渡井



紀ノ川万葉の里道の駅



紀ノ川堤防



## おすすめ散策コース (全行程 7.6km)

- 笠田駅 0.8km 大和街道
- 十五社の楠 1.5km
- 宝来山神社 0.6km
- 観音寺 1.0km
- 冥加井戸 0.9km
- 背の山 0.5km
- 道の駅 紀ノ川万葉の里公園 2.0km
- 紀ノ川堤防 0.3km
- かつらぎ温泉 八風の湯
- 笠田駅

背景写真「⑤十五社の楠」



丹生都比売神社

⑪背ノ山 168m

⑬船岡山

# 笠田のまち 案内

高野山のふもとに位置するかつらぎ町は人口約 18,000 人、面積 151K m<sup>2</sup>の自然と歴史に恵まれた町です。北に和泉山脈、南に紀伊山地を望み、清流「紀ノ川」の両側に広がる果樹園には、柿・みかん・桃・ぶどうなどの果物が豊かに実ります。

世界遺産（紀伊山地の霊場と参詣道）に登録されている天野丹生都比売神社や重要文化財を持つ笠田宝来山神社をはじめ多くの神社仏閣があり生産高日本一の四郷串柿の里、万葉集に 15 首も詠まれる妹背山、船岡山など名所旧蹟にも豊んでいます。



笠田のまち遠景

笠田のまちはかつらぎ町の西部にあり、古くより紀ノ川の恵みを受けて発展してきました。平安時代には荘園がひらかれ、柿田荘（笠田の名の由来）は京都神護寺の寺領として栄えました。まち中には旧大和街道が通り、古い家並みに昔の面影が残っております。街道沿いにそびえる十五社の楠は樹齢 600 年以上で近畿一番の大木です。西に行けば宝来山神社、万葉ゆかりの地、妹背山があり山頂よりみる笠田の里は絶景です。

## 発行 笠田の郷の会

笠田の郷の会は笠田東第一自治区の有志からなるボランティアグループで JR笠田駅に併設するかつらぎ町観光案内所を管理しています

### ① 佐野廃寺（県史跡）

昭和 51 年の発掘調査で白鳳後期建立の法起寺式伽藍配置をもつ寺院跡であることがわかりました。東西 109 メートル南北 164 メートルの寺院と推定され白鳳期から奈良時代にかけて紀ノ川流域の寺院建立を考える上で貴重な遺跡とされています。

### ② 小田井用水

江戸時代 全国の治水、利水の手本となった「紀州流」の始祖、大畑才蔵が藩主徳川吉宗の命により開削したもので今なお紀ノ川平野の穀倉地帯を潤しています。

### ③ 小庭谷川渡井（国登録有形文化財）

堂田川に架かる水路橋で工事は 1909 年（明治 42 年）に行われ、従来木造であったが煉瓦造に改修されました。

### ④ 牛つなぎ石

大和街道を往来する牛馬を休ませるためにこの石にないだところ。石うすをうまく利用しています。

### ⑤ 十五社の楠（県指定天然記念物）

十五社と書いて「じごせ」と読みます。笠田小学校北隣の妙楽寺境内にあるクスノキの大木は本幹周囲が 13 メートル、樹齢 600 年を超え県内はもとより近畿で一番の大きさです。

### ⑥ 一字一石

大和街道沿いの各所に通行人の安全や水難除け、さらには悪疫が入らぬようにとの願いをこめて建てられています。

### ⑦ 神願寺

宝来山神社の東隣にある神願寺は旧神宮寺です。古義真言宗御室派、天禄年間多田満仲の建立と伝えられ文覚上人が熊野那智山から帰ったとき造営し不動尊を安置したといわれています。

### ⑧ 宝来山神社（本殿国指定重要文化財）

和氣清麻呂が八幡宮を祭ったことが始まりと伝えられています。猿田彦大神のほか四神を祭神とする一間社春日造の四社殿は色鮮やかで美しい姿を見せています。昔は大鳥居の前あたりまで紀ノ川が蛇行しており、そこに舟を留めたという「船つなぎ松」跡があります。

### ⑨ 観音寺（寺子屋跡）

豊臣秀吉の紀州改めから守るために観音様を沈めたという逸話がある井戸や寺子屋跡が残っています。

### ⑩ 柿田荘

平安時代文覚上人の要請によって後白河上皇が京都神護寺に寄贈された荘園のあったところ。「神護寺領、紀伊国柿田荘絵図」（よく教科書にも載っている）は神護寺と宝来山神社に残されており、ともに重要文化財です。笠田の名は柿田荘に由来します。

### ⑪ 妹背山

万葉集には妹山、背山を詠んだ歌が 15 首あります。7 世紀中ごろ背山が畿内国（うちつくに）の南限に当たっており、ここを通る万葉人たちが故郷の妻（夫）や恋人を偲んで多くの歌を残した。ちなみに妹山の位置については紀の川南岸説と北岸二峯説のうちの片方とする説などがあります。

万葉 15 首のうちの一首  
「これやこの大和にしてはわが恋ふる紀路にありといふ名に負ふ背の山」（阿閉皇女）

### ⑫ 龍之渡井（国登録有形文化財）

穴伏川（四十八瀬川）に架かる水路橋の工事は 1919 年（大正 8 年）に完成しました。従来木造であったがコンクリート造と煉瓦造に改修されました。

### ⑬ 船岡山

紀ノ川の中流にある小島で「人ならば母が最愛子そあさもよし紀ノ川の辺の妹と背の山」と万葉集に詠まれた妹山背山を望む景勝の地、島の中には巖島神社があり吊橋を渡って詣でることができます。

### ⑭ 夜叉田の杜

笠田東の夜叉田の地にこんもりとした森があります。昔中国から不老長寿の妙薬を求めてやってきた娘がこの地で病に倒れました。村人たちは哀れに思い「娘女塚（おとめづか）」を作り夜叉田の杜とも呼ばれましたが、いつごろからか「夜叉田稲荷大明神」として信仰的的となっています。

## 「笠田への交通アクセス」

- ・JR和歌山線 笠田駅下車（南海高野線 橋本駅乗換え）
- ・国道 2 4 号線 笠田駅筋バス停
- ・京奈和自動車道 かつらぎインターから国道 2 4 号線 西



歴史街道

大和街道

道しるべ